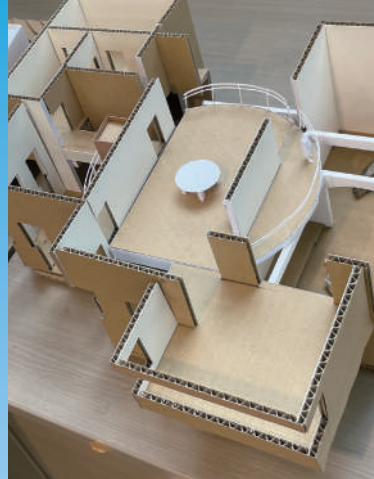




北大生が考える これからの「まちのミュージアム」展2026 本郷新記念札幌彫刻美術館版



もし本郷新記念札幌彫刻美術館を大規模にリノベーションするとしたら、どのようなことが考えられるでしょうか。北海道大学で建築を学ぶ学生たちが取り組んだ斬新な8つのプランを、模型や図面、イメージパースで紹介します。

北海道を代表する建築家 田上義也と上遠野徹の思想が反映された本館と記念館それぞれの意匠的特徴を活かしつつ、時代の変化にともなうユニバーサルデザインの考え方を取り入れていくことも大切です。また、本郷新という彫刻家の顕彰と彫刻を中心とした美術の振興という使命を果たすための活動内容を、未来に向けて更新していく必要もあるでしょう。

1981年の開館から45年を経て、改修が必要な時期にも差し掛かってきました。現状の課題を整理しつつ、宮の森という閑静な住宅街に根差す資源を含め、公的なストックとして改めて評価分析し、これからの「まちのミュージアム」に求められる新たな価値を創出する建築へのリノベーション・デザインを提案します。



本館：田上義也設計



記念館：上遠野徹設計

2026年 10月10日(土) ~ 2027年 1月24日(日)

開館時間：10:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日：月曜(祝日の場合は翌平日)、及び年末年始(12/28~1/4)

観覧無料

会場：本郷新記念札幌彫刻美術館本館ロビー

展示学生によるプラン説明会 11月28日(土) 14:00~16:30

会場：本館研修室 定員30名(事前申込不要、先着順)

展示学生

北海道大学工学部環境社会工学科建築都市コース3年

【10/10~11/28】

前
期
芳賀向泰／熊木 駿
湯口奏太／奥 征奈
高村奎介／影島潤平
廣兼海翔／上杉颯護

【11/29~1/24】

後
期
松尾美咲／井下陽平
橋本 結／菅野十悟
古屋妙々子／栗原朱音
寺前歩陸／佐藤 潤

担当教員：北海道大学大学院工学研究院 松島潤平、角 哲、渡部典大
WIPstudio / UDCO 石黒 卓

主催：本郷新記念札幌彫刻美術館、北海道大学工学部環境社会工学科建築都市コース

【同時開催】触覚的感覚一私と外をつなぐ窓 出品作家：岡碧幸、加藤宏子、河野菜穂子、KOMAKUS、清水宏晃、本郷新

本郷新記念札幌彫刻美術館

Hongo Shin Memorial Museum of Sculpture, Sapporo
札幌市中央区宮の森4条12丁目 電話 011-642-5709



アクセス
●公共交通機関をご利用の場合
地下鉄東西線「西28丁目」駅バスターミナル2番のりばからジェイ・アール北海道バス山の手線
〈循環西20(神宮前先行)〉乗車(約5分)、「彫刻美術館入口」下車、徒歩約10分
●タクシーをご利用の場合 地下鉄「西28丁目」駅から約5分
●お車をご利用の場合 市内中心部より約15分(無料駐車場10台)